

令和7年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：22014

学校名：新川中央小学校

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果			分析
体力・運動能力 ＜男子＞	○全国平均の記録と比べて上回った種目 50m走、ソフトボール投げ ○全国平均と同程度だが、やや上回っている 上体起こし、立ち幅跳び	○全国平均の記録と比べて下回った種目 長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン ○全国平均と同程度だが、やや下回っている 握力	・児童が子ども同士で教え合う体育の授業を継続して きた。結果、たくさんの子どもが、休み時間も体を動 かして楽しく過ごせるようになった。運動の楽しさを 実感することにつながった。 ・休み時間はドッジボールや鬼ごっこをして過ごす時 間が多く、短距離走やソフトボール投げの記録が伸び る要因になったと考えられる。 ・敏捷性や持久力、柔軟性などは低下傾向にある。日常 の遊びには無い器械運動や体づくりの運動、体ほぐし の運動を充実させる必要がある。 ・体育の授業に積極的に取り組む児童が多く、今 後も運動の楽しさを実感できる授業を充実させ ていく。 ・体育の授業中に子ども自身が課題を捉え、目標 を持って運動に取り組める授業を充実させる。
体力・運動能力 ＜女子＞	○全国平均の記録と比べて上回った種目 握力、50m走、立ち幅跳び ○全国平均と同程度だが、やや上回っている 上体起こし、ソフトボール投げ	○全国平均の記録と比べて下回った種目 長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン	
運動・ス ポーツへ の意識、 運動習慣	「運動やスポーツを好き」と感じている子 男子…97.4%、女子…86.2% 友達と助け合ったり、教えあったりして学習す ることで「できたり、わかったり」することが あると答えた子 男子…59.5%、女子…62.1%	体育の授業で、目標(ねらい・めあて)を意識して学 習することで、「できたり、わかったり」するこ とがあると答えた子 男子…52.6%、女子…13.8%	
三つの取組	① 体育・保健体育等の 授業の充実	② 授業以外で子どもの 運動機会を創出する取組	③ 子どもが自らの 健康づくりを図る取組の充実
具体的な 取組	○体育授業の改善 どの子も体を動かすことの楽し さを感じたり、課題意識をもって 取り組んだりすることができる 教材化や単元構成 ○鉄棒・マット・跳び箱などに特化 して取り組む運動週間の設定 ○ICT 活用 子ども自身が動きの現状や変容、 課題に気付くことができるよう にするためのタブレット活用	○楽しみながら体力をつける取組 ・休み時間における遊ぶ場の確保 (例) ドッジボールコートの常設など ・外遊びの習慣化 (例) 全職員で休み時間の支援や指導など ・学級や学年で全員遊び (例) 学級活動の活用など ・学級や学年の垣根を超えた交流の機会を 創出 (例) 児童委員会やたてわり活動など ・冬期間の運動機会の確保 (例) 視聴覚室に運動コーナーの設置など	○各教科等の内容を関連付けた健康教 育の推進 ○専門性を生かした指導 ・養護教諭や栄養教諭による授業 ・家庭科の専科指導 ・ゲストティーチャー（出前授業）の 活用
家庭・地域との 連携・協働	○発信と連携・・・保健便りや給食便り、ホームページやアプリを活用した家庭や地域への発信と連携 ○全学年を対象に体力テスト（50m 走、ソフトボール投げ、立ち幅跳び）の記録カードを家庭に持ち帰り、児童の家庭と共有 ○エスポラダ北海道やレバンガ北海道の出前授業を依頼する		